

口腔再生医学特論 ・ 実習

《キーワード》 組織再生, 脱灰骨, 脱灰象牙質, 歯根膜, 骨再生外科,

《担当者名》 村田 勝

【概要】

再生医療はバイオマテリアルサイエンスの発展型である。低侵襲の口腔再生医療を実施するためには、天然構造と構成成分そしてバイオマテリアルに対する知識を高める必要がある。口腔の特殊性を理解し、その機能する形態を生体から習得することを目標とする。

本科目では組織再生のためのBiological scaffold と移植技術について習得する。

【学修目標】

1. 象牙質, 歯根膜, 骨の構造と成分を理解する。
2. コラーゲン性マテリアルとセラミックスについて説明できる。
3. 骨形成タンパク質(BMPs), 脱灰骨, 脱灰象牙質について説明できる。
4. 移植医療の歴史と現状について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	象牙質, 歯根膜	象牙質の生物学, 歯根膜の恒常性維持機構	村田 勝
2	医療用マテリアル	コラーゲン性マテリアルとセラミックス	村田 勝
3	自家移植マテリアル	脱灰骨と脱灰象牙質による骨再生外科	村田 勝

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

口頭試問又は筆記試験

【教科書】

Advances in Oral Tissue Engineering (Quintessence Publishing, Chicago)

【参考書】

骨の科学（医歯薬出版）

歯と骨の再生医療（学際企画）